

令和
3年度

橋梁技術発表会 講演会

参加費
無料定員
200名申込
先着順

及び

コロナ対策を考慮して開催いたします。定員変更の可能性あります。
新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

技術発表	第1部	13:00~13:10	開会の辞	北海道土木技術会 鋼道路橋研究委員会委員長 松本 高志
		13:10~13:50	① 連続合成2主桁橋の設計例と解説について ~H29道示による設計もこれで大丈夫~	設計小委員会
		13:50~14:00	休憩	
		14:00~14:40	② 著名橋の補修・補強事例 ~歴史的価値を守りながら鋼橋を後世に残す~	保全委員会
		14:40~14:50	休憩	
特別講演	第2部	14:50~15:50	積雪寒冷地における鋼道路橋の 維持管理と耐震性能向上への貢献	鋼道路橋研究委員会顧問 北海道大学名誉教授 林川 俊郎
		15:50~16:00	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行委員会 副委員長 春日井 俊博



日時 令和3年 **10月29日(金)**
13:00~16:00

会場 **かでの2・7 かでのホール(1F)**
札幌市中央区北2条西7丁目

申し込み Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和3年9月29日~10月19日
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 北海道事務所
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西14-3-23
(株)巴コーポレーション内
TEL 011-232-0303

継続教育 CPDS認定予定

開催地区 ●東京地区:10月 1日(金) ●九州地区:11月 5日(金)
●大阪地区:10月13日(水) ●東北地区:11月10日(水)
●北海道地区:10月29日(金) ●中部地区:11月19日(金)
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布 論文及びPPTのpdfは事前にWebサイトに掲載
致しますので、必要に応じ出力し持参願います。

【アクセス】



- JR札幌駅南口:徒歩13分
- 地下鉄 さっぽろ駅(10番出口):徒歩9分
- 大通駅(2番出口):徒歩11分
- 西11丁目駅(4番出口):徒歩11分
- JRバス北1条西7丁目(停留所):徒歩4分
- 中央バス北1条西7丁目(停留所):徒歩4分
- 公共地下歩道(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください)1番出口:徒歩4分

【来場時のお願い】

- ◎来場時に検温および体調の確認をさせていただきます。
- ◎来場時には、マスクの着用をお願い致します。
- ◎体調不良の場合は、来場を自粛して頂きます様、お願い致します。

1 連続合成2主桁橋の設計例と解説について

「連続合成2主桁橋の設計例と解説」は、平成13年の発刊以来、連続合成桁の設計テキストとして多くの皆さまにご利用頂いて参りました。当協会では、平成29年の道路橋示方書(以下、道示)の改定に合わせて、まず単純合成桁の計算例である「合成桁の設計例と解説」を平成30年2月に改訂いたしました。本テキストは、その連続合成2主桁橋編となります。今回の道示改定では、許容応力度設計法から部分係数設計法へ移行しただけでなく、橋に求められる要求性能がより明確化され、耐荷性能の照査方法も大きく変わりました。ここでは、新旧道示による主桁断面の違いや、ずれ止め、横桁の設計等について分かり易く解説します。

2 著名橋の補修・補強事例

私たちの身の回りには様々な鋼橋が存在します。その中には昔からその場所にあり、生活やその町の風景に溶け込み、なくてはならない存在となっている鋼橋も少なくありません。そこで、町の歴史や文化を象徴するかのよう
に存在する著名橋を対象として、長寿橋梁ならではの特徴を踏まえながら、その価値を損なわずに後世へと残すことができるよう工夫しながら行われた補修・補強の事例を紹介します。なお、対象橋梁は比較的近年に補修・補強が行われたもので、技術的な資料が存在するものとします。

特別講演会 講演者紹介

鋼道路橋研究委員会顧問
北海道大学名誉教授

林川 俊郎

講演テーマ

積雪寒冷地における鋼道路橋の 維持管理と耐震性能向上への貢献

【略歴】

1972年 北海道大学工学部土木工学科卒業
1974年 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
1974年 北海道大学工学部土木工学科助手
1985年 プリンストン大学(米国)客員研究員
1988年 北海道大学工学部土木工学科助教授
2000年 北海学園大学工学部非常勤講師
2004年 北海道大学大学院工学研究科教授
2013年 北海道大学名誉教授
2013年 北海道大学大学院工学研究院特任教授
2015年 北海道大学定年退職

【講演概要】

北海道における鋼道路橋の設計および施工技術の向上、地震の橋梁損傷に基づく耐震設計、免震設計および耐震性能向上、従来の事後的な修繕および架換えから計画的な予防保全へと転換を図る橋梁のLCC削減と道路ネットワークの信頼性および安全性の向上など、維持管理について発表する。

令和3年度

橋梁術発表会
北海道地区

10月29日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。